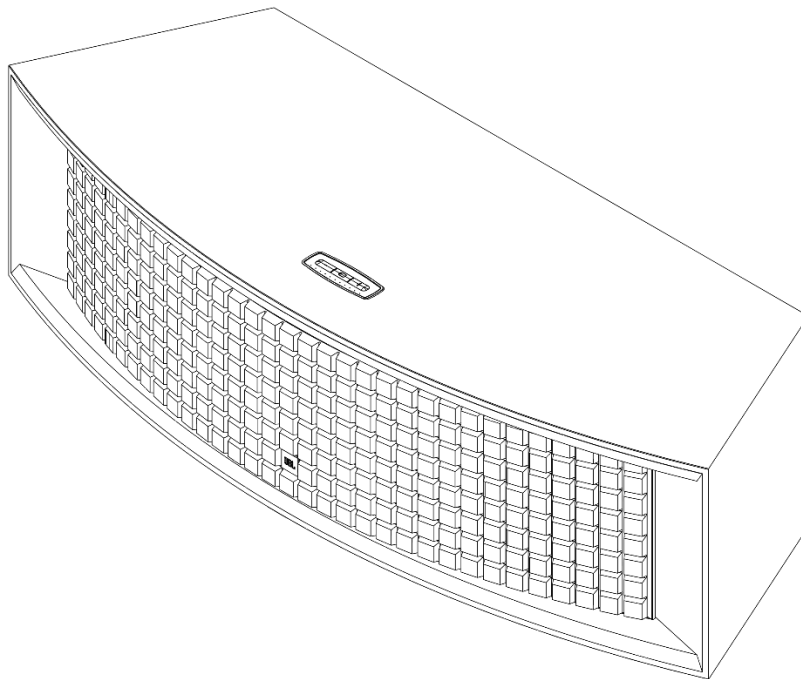




L75ms

インテグレートッド・ミュージックイン
テグレートッド・ミュージックシステム



取扱説明書

©2022 Harman International Industries, Incorporated
特徴、仕様、外観は予告なしに変更されることがあります。



[JBL.com/Specialty-Audio/](https://www.jbl.com/Specialty-Audio/)



重要な安全上の注意

1. 説明書をよく読んでください。
2. 説明書を大切に保管してください。
3. 記載された注意事項を必ず守ってください。
4. 全ての注意事項に従ってください。
5. 乾いた布のみで手入れをしてください。
6. 通気開口部を塞がないでください。説明書に従って機器を設置してください。
7. ヒーターや暖房、ストーブまたは発熱するその他の機器（アンプを含む）などの熱源の近くにこの機器を設置しないでください。
8. 極性プラグまたは接地タイププラグの安全目的に違反しないでください。極性プラグには2つのブレードがあり、片方がもう一方よりも広がっています。接地タイププラグには2つのブレードがあり、3番目のアースが分岐しています。広いブレードまたは3番目のピンは安全のために取り付けられています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事業者に相談して旧式のコンセントを交換します。
9. 電源コードの上を歩いたり、電源コードを挟んだりしない（特にプラグ、コンセントおよび機器から出ている部分）ように保護します。
10. 製造元によって指定された付属品のみを使用してください。
11. 製造元によって指定された、または機器に同梱されているカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルのみを使用してください。転倒による怪我を避けるために、カートに載せて機器を移動する際には注意してください。
12. 雷雨の間、または長期間使用しない場合はこの機器のプラグを抜いてください。
13. 製品の修理は専門の修理業者に依頼してください。電源コードまたはプラグが破損した、機器に液体がこぼれた、または物が落ちた、あるいは機器が雨または湿気にさらされて正常に作動しない、または機器を落とした場合のように、機器が何らかの形で破損した場合、修理が必要です。
14. AC電源をこの機器から完全に外すには、AC電源差し込み口から電源コードを引き抜きます。
15. 電源コードの主電源プラグはいつでも使用可能な状態にあるものとします。
16. この機器は製造元によって提供された電源や充電ケーブル以外の使用は想定していません。

以下の指示は防水機器には該当しないことがあります。該当する場合、防水についての詳細な指示は、お持ちの機器の取扱説明書、またはクイックスタートガイドをご参照ください。

- 水の近くでこの機器を使用しないでください。
- この機器を水滴または水しぶきが当たらないようにして、花びんのように液体で満たされた物体を機器の上に置いていないことを確認してください。

警告：火災または感電のリスクを減らすため、この機器を雨または湿気に当てないこと。

警告	
感電のリスクあり。絶対に開けないでください。	
	製品のこの記号は、絶縁されておらず製品のキャビネット内が危険な電圧で、感電のリスクがあるという意味です。
	製品のこの記号はこのガイドにおける重要な操作およびメンテナンス上の指示があるという意味です。

jbl.com/specialty-audio の製品ページにアクセスして、安全上の注意の全リストを備えた安全シートをダウンロードしてください。

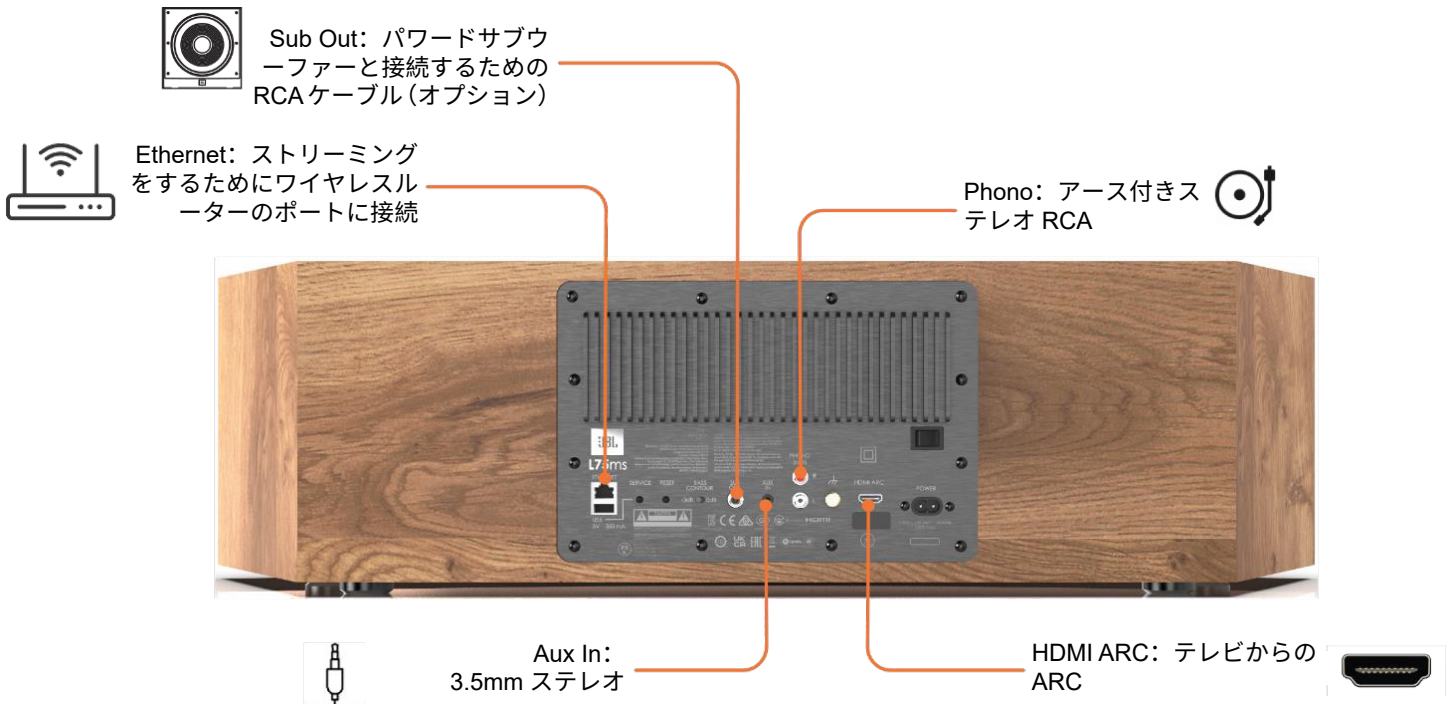
目次

重要な安全上の注意	2
製品の概要	4
基本的な配線図	4
同梱品	4
リアパネル接続	5
トップパネル操作	6
リモートコントロールボタン	6
初期設定	7
スピーカーの設置	7
リモコンをペアリングする	7
入力ソースに接続する	8
ネットワークに接続する	8
Bluetooth 対応デバイスへの接続	9
L75ms を使用する	10
スタンバイ状態からの起動	10
入力ソースを選択および再生する	10
L75ms の音量を操作する	11
サウンドフィールドエンハンスメント (SFX)	11
仕様	12
ワイヤレス仕様	12
製品の仕様	12
トラブルシューティング	13
工場出荷時のデフォルト設定への復元	13
ファームウェアをアップデートする	13
商標およびライセンス	14

製品の概要

L75ms は、Bluetooth および Wi-Fi を介したワイヤレスストリーミングから、フォノターンテーブルやテレビのような有線接続まで、様々なソースに対応しています。一部の接続はそのデバイス専用ですが、その他は接続タイプに合ったどのデバイスでも接続可能です。

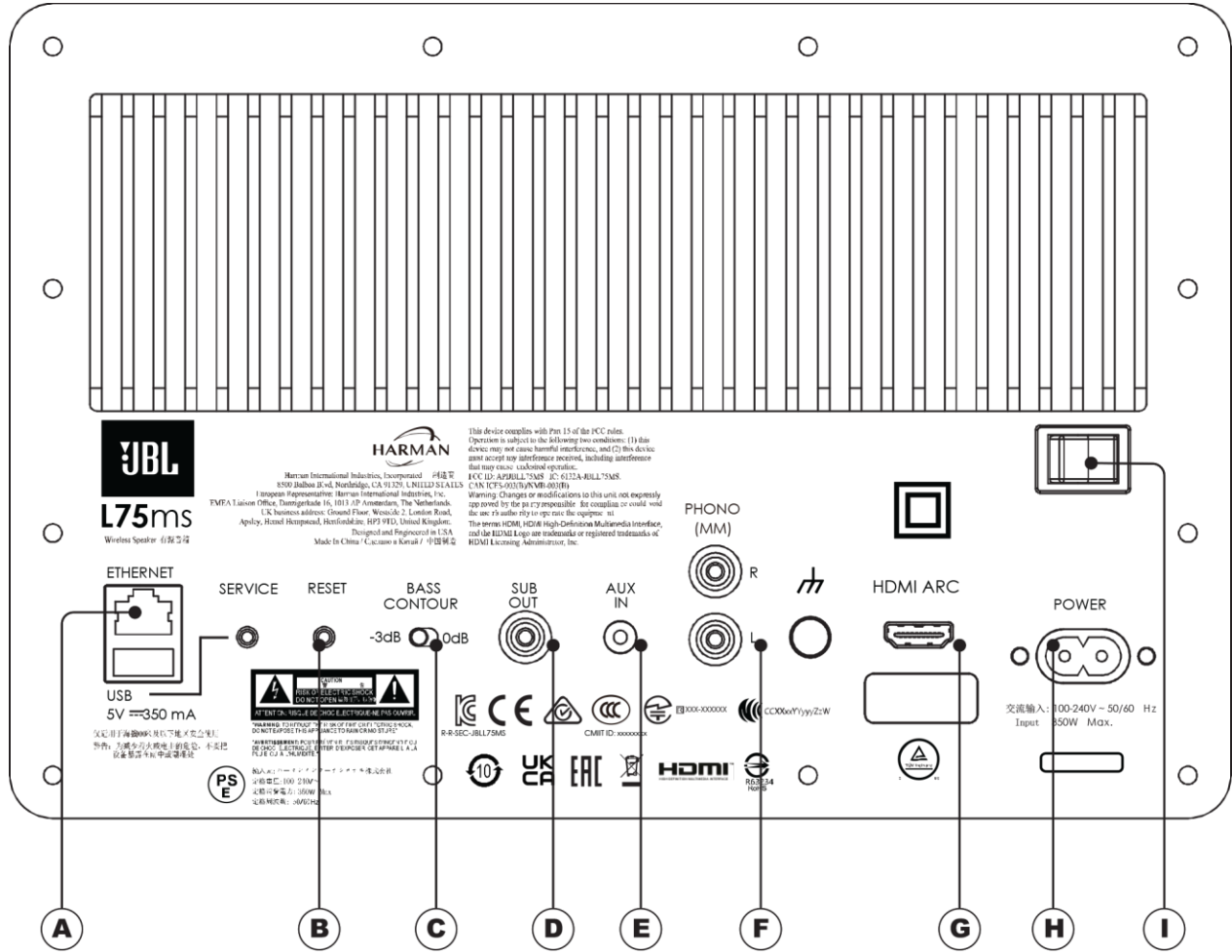
基本的な配線図



同梱品

- L75ms インテグレートッド・ミュージックインテグレートッド・ミュージックシステム x1
- スピーカーグリル x 1
- RF リモコン x 1
- 電源コード x 1 (国・地域により異なります)

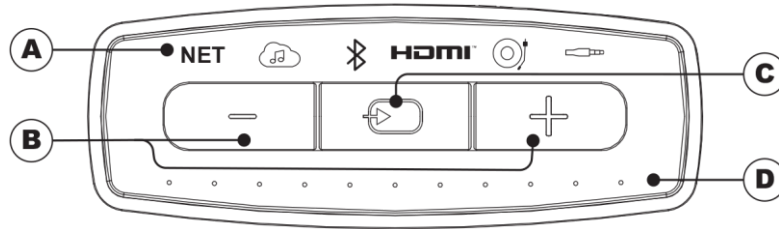
リアパネル接続



注：ここに記載されていない接続端子はサービス用で、通常の使用では作動しません。

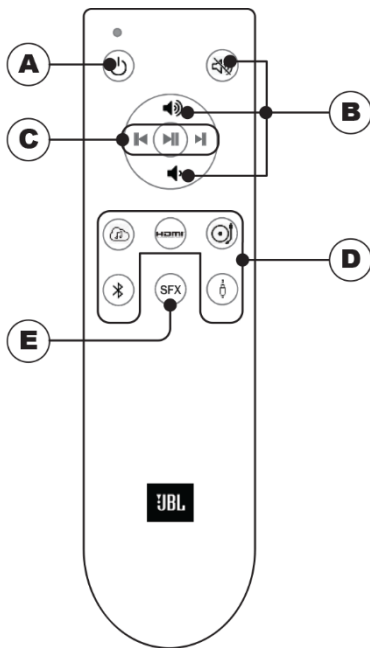
A Ethernet	RJ-45 10/100 bit
B Reset	L75ms を工場出荷時のデフォルト状態にリセットします。詳細については 工場出荷時のデフォルト設定への復元 をご参照ください。
C Bass Contour	壁への距離に応じた低音補正の調節に使用します。詳細については スピーカーの設置 をご参照ください。
D Sub Out	モノラル RCA ケーブルでパワードサブウーファーに接続することで重低音を改善できます
E Aux In	3.5mm TRS ステレオアナログ
F Phono In (MM)	アース接続が付いた MM 式フォノカートリッジ用の RCA ステレオ。 注： この入力ターンテーブルに必要なゲイン用に設定されており、アナログラインレベル出力用途ではありません。
G HDMI ARC	テレビの ARC 入力で使用するための、ARC 付きのスタンダード HDMI。2チャンネルの PCM 信号のみに対応
H AC Power	付属の電源コードに接続します。
I 主電源スイッチ	入力ソースの接続または接続解除時にスイッチがオフ位置にあることを確認します。

トップパネル操作



A 入力ソースインジケータ	接続状態を示します。 NET- 白色 = 接続済み 点滅 = 検索中 赤色 = ネットワークが無効 入力ソース - 白色 = アクティブ オフ = 非アクティブ
B 音量の操作	スピーカー音量の操作
C 入力切替	押すと、次の入力ソースへ移ります。
D 音量インジケータ	音量を上げると、左から右へドットが点灯していきます。

リモートコントロールボタン



A 電源	L75ms のオンまたはオフを切り替えます
B 音量の操作	音量を上げる / 下げる、ミュートする
C 再生の操作	戻る / 次へ、再生 / 一時停止
D ダイレクト入力切替	ネットワークストリーミング / HDMI-ARC / フォノ / Bluetooth / 3.5mm ステレオ
E SFX (サウンドフィールドエンハンスメント)	オンにすると、音をより広いサウンドフィールドへと拡大します。 詳細については サウンドフィールドエンハンスメント (SFX) をご参照ください。

注: リモコンのいずれかのボタンを押すと、L75ms がスタンバイ状態から起動します。

初期設定

スピーカーの設置

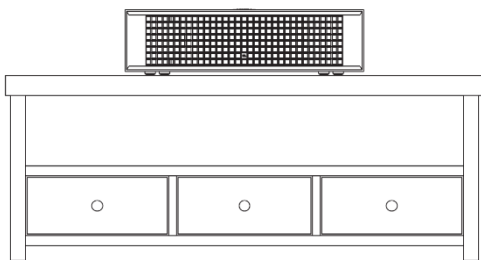
壁補正の設定

L75ms は、壁またはキャビネットの仕切りのようなものから離れたオープンな場所で、キャビネットまたはテーブルの上に置かれることを想定して設計されています。バスコンタースイッチは、スピーカーがキャビネットの棚の側面および天面に近接して置く場合の補正に使用します。

壁、本棚の中、またはキャビネットの中のような、横の壁とスピーカーとの距離に応じて、リアパネルでバスコンターの設定をします。壁に近い場合、安定した低音域レスポンスを維持するため、スイッチは -3dB の位置にしておく必要があります。

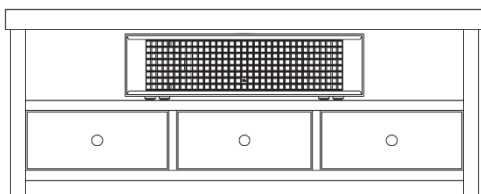
キャビネットの上に置かれ、壁から離れた位置にあるスピーカー。

バスコンターを0dBに設定



キャビネットの棚の中、または壁に近い位置にあるスピーカー。

バスコンターを-3dBに設定



リモコンをペアリングする

L75ms を付属のリモコンで操作できるようにするには、付属のリモコンを L75ms とペアリングする必要があります。

1. トップパネルの音量マイナスボタンと入力ソース選択ボタンを同時に 2 秒間長押しすると、ペアリングモードに入ります。
2. リモコンのネットワークストリーミングボタンと再生 / 一時停止ボタンを同時に 3 秒間長押しします。



入力ソースに接続する

AUX- アナログ 2 チャンネル用の 3.5mm ステレオメスを使用して接続します。ピン配列は標準設定に従っています。[リアパネル接続](#)の項目 E をご参照ください。

PHONO- ターンテーブルのステレオアナログ出力と、ターンテーブルから L75ms のアースまでのアースを接続します。この入力はフォノレベルであり、アナログラインレベル出力を想定していませんのでご注意ください。

[リアパネル接続](#)の項目 F をご参照ください。

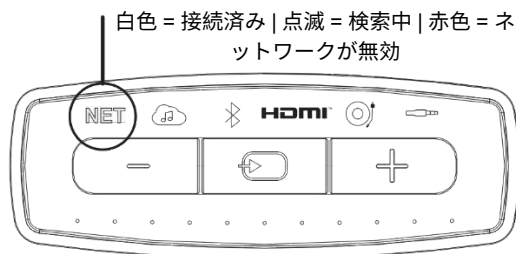
HDMI-ARC- テレビの ARC 入力に接続します。この接続を行って L75ms の電源をオンにした後、テレビの ARC 入力を選択します。[リアパネル接続](#)の項目 G をご参照ください。

注: L75ms の HDMI-ARC 入力はマルチチャンネルまたはドルビー 2 チャンネルオーディオフォーマットには対応していません。HDMI/ARC で送信されたコンテンツを L75ms で再生するには、ソース機器の出力が 2 チャンネル PCM に設定されている必要があります。2 チャンネル PCM 出力の選択方法の詳細については、お持ちのソース機器の取扱説明書をご参照ください。

ネットワークに接続する

有線ネットワーク接続

CAT-5e またはそれ以降のケーブルを使用してワイヤレスルーターと背面の Ethernet ポートに接続します。ネットワーク接続が確立されると、トップパネルの NET が白色で点灯します。L75ms では、Spotify または iTunes のようなメディアプレーヤーからのキャスト用のネットワークをお選びいただけます。



注: NET アイコンが赤色の場合、ネットワークは無効で、接続するために有効にする必要があります。詳細については、[ネットワークと Bluetooth を有効 / 無効にする](#)をご参照ください。

Wi-Fi ダイレクト接続

Google Home アプリは、L75ms と Android および Apple iOS デバイス用ネットワークとの接続に使用されます。Google Home を使用しておらず、Airplay で Apple iOS デバイスに接続していない場合は、[Airplay で Wi-Fi 接続](#)をご参照ください。

Google Home で Wi-Fi に接続する

1. スマートフォンなどのモバイルデバイスで、Google Home アプリをダウンロードして開きます。
2. Google Home の指示に従い、デバイスを追加します。
3. デバイスを追加するには、手順に従います。注: 後でストリーミングする際に、簡単に見つけられるように一般的な名前をスピーカーに付けることをお勧めします。

注: Wi-Fi または Bluetooth ストリーミングで本機を接続するために名前を書き留めておく場合は、L75ms にリビングルームスピーカーのような使いやすい名前を付けることをお勧めします。



Airplay で Wi-Fi 接続

1. iOS デバイスのネットワーク設定に移動します。
2. Wi-Fi を選択して、**新しい Airplay スピーカーの設定**に移動します。
3. **L75MS-XXXXXX** という名前のデバイスを選択します。**XXXXXX** は MAC アドレスに該当します。
4. 使用するには L75ms のネットワークを選んで**次へ**を選択します。
5. 画面上の指示に従って、Airplay スピーカーとしての L75ms の設定を完了します。

ネットワークと Bluetooth を有効 / 無効にする

ネットワークと Bluetooth 機能をオフにしたい場合は、オフにすることができます。同じボタン操作でネットワークと Bluetooth をオンに戻すことができます。

トップパネルの入力切換ボタンと音量の + ボタンを同時に 3 秒以上押します。



注: ネットワークと Bluetooth がオフの場合、以下の状態になります。

- ネットワークまたは Bluetooth ストリーミングのためにスピーカーを使用することはできません。
- 付属のリモコンで操作できず、トップパネルのボタンでのみ操作できます。
- 赤色で表示されたトップパネル上のネットワークアイコンはネットワークがオフであることを示しています。

Bluetooth 対応デバイスへの接続

Bluetooth を介した接続はその他の Bluetooth 対応デバイスと同様で、モバイルデバイスによって異なります。以下のステップを実行する前に、接続されているデバイスの取扱説明書をご参照ください。

1. リモコンのボタン、またはトップパネルの入力切換ボタンで Bluetooth ソースを選択します。
2. Bluetooth ソースまたは入力切換ボタンを 3 秒以上長押しします。
3. デバイスの Bluetooth メニューに移動し、リストから JBL L75ms を選択します。Google Home 設定中に名前が変更された場合はその名前がリストに入るのでご注意ください。

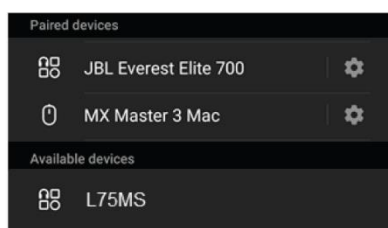
1 Bluetoothソースを選択する



2 3秒以上長押しする



3 デバイスのBluetoothメニューでL75msを選択する



L75ms を使用する

スタンバイ状態からの起動

L75ms は電源ボタンを押した場合、または選択したソースから 10 分間信号がない状態が続くとスタンバイモードに入ります。L75ms をスタンバイ状態から起動させるには、以下のいずれかの操作を実行してください。

- リモコンまたはトップパネルのいずれかのボタンを押します。
- Bluetooth または Wi-Fi ストリーミングソースを介して L75ms に接続します。
- HDMI ARC を介して L75ms に接続されたデバイスの電源をオンにします。

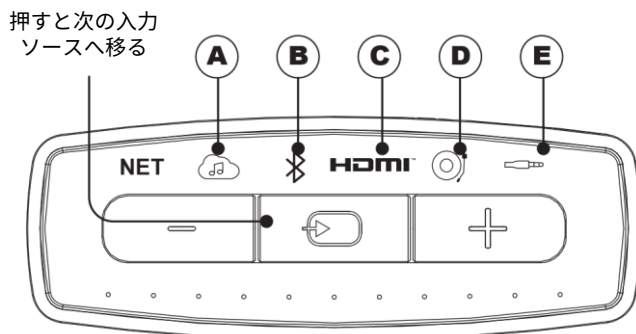
入力ソースを選択および再生する

リモコンのお好きな入力ソースボタンを押すか、トップパネル上の入力切換ボタンを使用して直接入力ソースを選択することができます。あるいはネットワークか Bluetooth ストリーミングおよび HDMI ARC の場合は自動的に選択されます。自動的に再生できる入力ソースでは、L75ms もスタンバイ状態から起動します。

トップパネルを使用する

トップパネルの中央にある入力切換ボタンを使用して入力ソースを選択することができます。押すと、右にある次の入力ソースに移ります。アクティブになると、入力ソースは**白色**で点灯します。

入力ソースは、付属の RF リモコンのボタンを使って直接選択することもできます。詳細については、[製品の概要のリモコン](#)をご参照ください。



A ストリーミングソース	自動スイッチ - デバイスがストリーミングを開始する時に選択。
B Bluetooth	自動スイッチ - Bluetooth を介してデバイスに接続する時に選択。 デバイスとの接続の詳細については、 Bluetooth 対応デバイスへの接続 をご参照ください。
C HDMI-ARC	自動スイッチ - HDMI 入力に接続されたデバイスの電源がオンである時に選択。
D Phono	ターンテーブルからのアナログステレオ。
E AUX	3.5mm ステレオを介したアナログステレオ。

自動的に選択された入力ソース

HDMI-ARC の場合はケーブルを介して、あるいは Wi-Fi と Bluetooth で L75ms に接続されている入力ソースが選択された場合に、ストリーミングソースおよび HDMI-ARC 入力が自動的に選択されます。

ネットワークストリーミング

L75ms は、スピーカーがネットワーク接続を通してコンテンツを受信できる Google Chrome cast に対応しています。使用されているアプリ内のキャストアイコン、またはアプリの接続機能を選択すればキャストが開始します。特定のアプリ機能を使用する際の詳細は、アプリの使用情報をご参照ください。

1. モバイルデバイスで Spotify のような音楽アプリを開きます。
2. お好きな曲を選択します。
3. アプリのキャストアイコンを押して、L75ms を選択します。

注: スマートフォンまたはタブレットをリモコンとして使用することができます。詳細については、spotify.com/connect にアクセスしてください。

Apple Airplay

AirPlay を介してスピーカーで音声を聴くには、Apple デバイスが受信再生する機器と同一のネットワークに接続されていることを確認し、スピーカーを AirPlay オーディオ再生デバイスとして選択してください。

Bluetooth

1. モバイルデバイスの Bluetooth メニューを開きます。
2. リストから L75ms を選択します。
3. Spotify のような音楽アプリを開きます。
4. コンテンツを選択して「再生」を押します。

HDMI-ARC

L75ms がスタンバイ状態であっても、接続された機器の電源がオンであれば、自動的に HDMI-ARC 入力を選択されます。トップパネルの入力切替ボタン、またはリモコンの HDMI ボタンを使って選択することもできます。

1. HDMI-ARC に接続されたデバイスの電源をオンにします
2. L75ms が自動的に HDMI-ARC 入力を選択します。

L75ms の音量を操作する

トップパネルの音量ボタン、付属のリモコン、HDMI ARC で接続されたテレビ、およびネットワークまたは Bluetooth を介してストリーミングしている機器の音量ボタンで、L75ms の音量を調節することができます。ストリーミングデバイスの音量調節は使用しているデバイスとアプリによって決まることにご注意ください。

サウンドフィールドエンハンスメント (SFX)

L75ms はリモコンで使用可能なサウンドフィールドエンハンスメントモードを搭載しています。このモードは標準的なステレオに比べて、再生する音楽をより空間に広げ、部屋を満たすような効果が得られます。標準的なステレオと向上したサウンドの違いはいくつかの要因によって異なります。

- 壁、床、天井への近さ。壁に近ければ近いほど、反射も大きくなります。
- 再生するコンテンツの内容。コンテンツに広がりがあり、開放的であればあるほど、その効果も明瞭になります。

リモコンの **SFX** ボタンを押すと、サウンドフィールドエンハンスメントが作動します。

仕様

ワイヤレス仕様

Bluetooth

- リモコンのタイプ: BTLE 2400-2483.5MHz@0.16dBm
- 最大出力 7.67dBm の等価等方放射電力で、2400MHz-2483.5MHz での Bluetooth 動作
- 最大出力 9.59dBm の等価等方放射電力で、2400MHz-2483.5MHz での Bluetooth LE 動作

Wi-Fi

- 最大出力 16.96dBm の等価等方放射電力で、2412MHz-2472MHz での 802.11b/g/n 動作
- 5GHz RLAN 802.11a/n/ac: 5180MHz-5240MHz、5260MHz-5320MHz、5500MHz-5700MHz (最大出力時) 21.24dBm での動作
- 最大出力 12.94dBm の等価等方放射電力で、5745MHz-5825MHz での 5.8G SRD 動作

注: 本機が 5150-5350MHz の周波数帯域で動作する場合は、屋内のみの使用に限られます。

製品の仕様

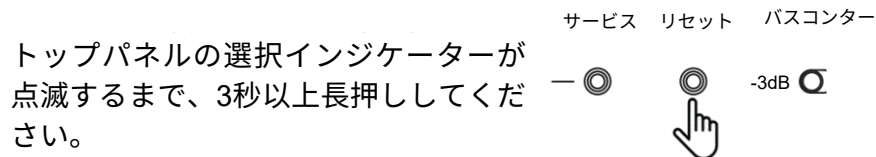
低域	133mm デュアルピュアパルプコーンウーファー
高域	ウェーブガイド付き 25mm アルミニウムドームツイーター x 2
中域	100mm ピュアパルプコーンミッドレンジ
アンプ出力	ウーファー : 125W x 2, RMS、ツイーター : 25W x 2, RMS、 センター : 50W RMS (合計 350W RMS)
周波数特性	45Hz-25kHz (-6dB)
最大音圧レベル:	106dB@1m
サウンドコントロール	スピーカー設置場所の壁の補正 切替可能サウンドフィールドエクスペンダー (SFX)
キャビネット	フロントバスレフ型、サテンウォールナット突き板仕上げ
グリル	Quadrex グリル (黒)
ワイヤレス入力	Wi-Fi ストリーミング Bluetooth 4.2
有線入力	HDMI ARC RJ-45 Ethernet フォノ (MM) AUX: 3.5mm ステレオアナログ
解像度	最高 32 ビット、192kHz
サブウーファー出力	自動検出 / 作動 HPF 付、2V RMS
リモコンのタイプ	BTLE
外形寸法 (グリル含む)	高さ 216mm x 幅 790mm x 奥行 287mm
製品重量	約 35 ポンド (約 15.9kg)

トラブルシューティング

HDMI-ARC で出力できない。	<ul style="list-style-type: none">• 接続した入力ソースが 2 チャンネル PCM に設定されていることをご確認ください• テレビで ARC 入力を選択し、ARC 接続を再設定します。• テレビまたは L75ms で別の入力ソースを選択し、HDMI に切り換えます。
-------------------	--

工場出荷時のデフォルト設定への復元

L75ms は必要な場合に、工場出荷時のデフォルト状態にリセットすることができます。この操作を行うと、ネットワークと Bluetooth 用の全ての設定が消去されるので、全ての接続を再設定する必要があります。



ファームウェアをアップデートする

L75ms のソフトウェアアップデートは、Google Home を通した OTA (無線) アップデートによって行います。これは L75ms に最初に接続した場合、またはワイヤレスストリーミング用に接続されている場合に当てはまります。Wi-Fi または Bluetooth が無効になっているデバイスのアップデートについては、カスタマーサポートにお問い合わせください。

商標およびライセンス

Apple®、AirPlay® および AirPlay Logo™、iPod®、iPhone® および iPad® は Apple Inc. の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。



AirPlay 2 は iOS 11.4 またはそれ以降の OS 搭載の iPhone®、iPad®、および iPod touch®、OS X® Mountain Lion またはそれ以降の OS を搭載の Mac、iTunes® 10.2.2 またはそれ以降を搭載の PC で作動します。



Spotify ソフトウェアは次のサイトで見られる第三者のライセンスに従うものとします：
<https://developer.spotify.com/legal/third-party-licenses/>



Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



Google、Google Play、Chromecast、およびその他の関連するマークは Google LLC の商標です。Google アシスタントを使用するにはインターネット接続が必要です。国や言語によっては使用できないことがあります。特定の機能およびサービスの使用可能性と対応はデバイス、サービス、ネットワークによって決まり、全ての地域で使用できるものではありません。家で特定のデバイス进行操作するには、対応するスマートフォンなどのデバイスが必要です。サービスやアプリケーションには定期利用契約が必要な場合があり、追加条項、条件や料金が発生することがあります。



HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

MP3

MPEG Layer-3 オーディオデコーディング技術は Fraunhofer IIS および Thomson multimedia から使用許諾を受けました。

FLAC Decoder Copyright © 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008 Josh Coalson

- 変更があってもなくても、ソースおよびバイナリ形式での再配布および使用は以下の条件に合致する場合に認められます：
- ソースコードを再配布する場合は上記の著作権表示、この条件のリストおよび以下の免責条項を保持する必要があります。
- バイナリ形式での再配布は、配布によって提供される添付資料および / またはその他のデータでの上記の著作権表示、この条件のリストおよび以下の免責条項を再現する必要があります。
- Xiph.org Foundation の名称またはその出資者の名前はどちらも、特別な事前の書面による許可なしに、このソフトウェアから派生した製品の承認または販売促進のために使用することはできません。

Flac

このソフトウェアは著作権保有者および出資者に「現状有姿で」提供され、黙示の商品性の担保責任および特定目的に対する適合性を含みますがこれに限定されず、いかなる明示または黙示の保証も放棄されます。財団または出資者は、本ソフトウェアの使用から生じた直接的、間接的、偶発的、特別、典型的または結果的損害（代用品またはサービスの調達、使用、データまたは利益の損失、または事業中断を含みますがこれに限定されません）についてはそれがいかなる原因、また契約、無過失責任または不法行為（怠慢またはその他の場合を含みます）であっても、たとえその可能性について知らされた場合でも、責任を負いません。



Harman International Industries, Incorporated.
8500 Balboa Blvd, Northridge CA 91329 United States.

ヨーロッパの代理店: Harman International Industries, Incorporated.
EMEA Liaison Office, Danzigerkade 16G, 1013 AP Amsterdam, The Netherlands.

英国の住所: Ground Floor, Westside 2, London Road, Apsley, Hemel Hempstead, Hertfordshire, HP3 9TD,
United Kingdom.

© 2022 Harman International Industries, Incorporated. 無断複写・転載を禁じます。

JBL は、Harman International Industries, Incorporated の商標で米国およびその他の国々で登録されています。
特徴、仕様、外観は予告なしに変更されることがあります。

